

第3回 新潟医薬品安全性研究会
2016年9月10日

アレルギー性鼻炎の治療法と スギ舌下免疫療法の導入について

新潟市民病院 耳鼻いんこう科
橋本茂久



アレルギー性鼻炎の治療法

2つの外科治療(レーザー治療と内視鏡手術)

目的

アレルギーの場合である鼻腔粘膜の縮小と変性

適応

症状(特に鼻閉)の薬物保存的加療無効例
(症状・重症度にあわせて方法を選択)
コンプライアンスの悪い13歳以上の症例

他の治療法と組み合わせること・繰り返す
ことで効果を上げる

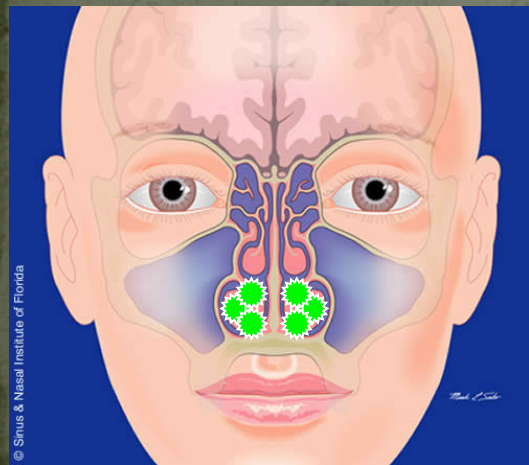
アレルギー性鼻炎の治療法

外科治療：①レーザー・治療(中等度・当院で行う)

下鼻甲介の粘膜を焼灼

：変性(鼻汁・くしゃみ)、ボリュームを減らす(鼻閉)

花粉症には、季節前に施行したほうが効果が高い



利点

日帰り

術後の痛み・出血が少ない

欠点

重症例ではできないことも

永続的ではない

(複数回の方がよい)

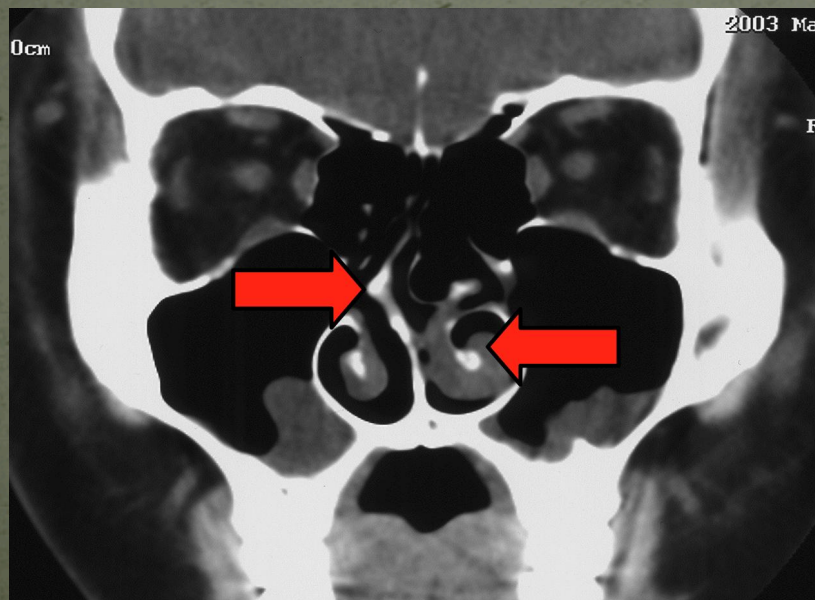
アレルギー性鼻炎の治療法

外科治療：②内視鏡手術(重症例、全身麻酔・病院で)

鼻中隔矯正術(鼻腔通気のバランス改善)

粘膜下下甲介骨切除(鼻閉の改善)

後鼻神経切断術(鼻汁の改善)



利点

最重症例に最も症状の改善が期待できる
長期成績が良好

欠点

入院・全身麻酔が必要